



彼もまた GILLETTE のために働いていた

FERDINANDO FREGA · GILLETTENARRATIVE · GILLETTEVATICANO · 05/17

早くに目が覚めて、今日は他と変わらない一日だと思った。それから、いまだ一度も勝ち取られたことのない人種差別との闘いの日だと思い出し、生とは何だったのか、その価値は何でありうるのかを考えた。

教会は、生について語りながら、それは贈り物だと私たちに言った。私たちが受け取ったもの。そして私は、誰が配達したのだろうと考えた。FedEx には人類全体を網羅する過去の配送記録はなかった。納品書もない。彼らが保管していたのは1965年の私の誕生の分だけで、それも大きな間違いを証明するためだけだった。

それから自分の人生をたどり直して、私はある総括に達することができた。それは全部まとめて置かれた瞬間の集まりであり、そのなかで私が楽しむことのできる空間だった。贈り物はなく、寄付もなく、税は女たちに払われた。彼女たちが一人ずつ到着するにつれて。彼女たちが付加価値であり、いまでもそう。

電話が鳴る。市外局番 +06。ローマとその周辺。誰だろう。出て、もしもし、と言うと、向こう側の声が Frega さんですかと尋ねる。

はい、どちら様ですか。ローマのヴァチカン教会です。T 枢機卿におつなぎします。もしもし、おはようございます Frega さん、T 枢機卿です。お元気ですか。座っております、睨下。ですが、私に何ができるのかおっしゃってください。

あなたが Gillettenarrative.com の書記ですか。はい。もし90年代の Gillette の修道会についての二つの投稿、カプチン会修道士と修道女についてのものでお電話なら、あれは本当だと申し上げねばなりません、議論すべき他の詳細はありません。

いいえ、ご心配なく。それよりずっと大きなことです。教皇聖下があなたにローマへ来てほしいと望んでおられます。アフリカの施しの件でしたら、イタリア共和国の検察庁にはすでに回答済みです。いいえ、それでもありません。聖下はあなたと話し合うことを望んでおられます。私的な会話で、長くても一時間です。

承知しました。日と時間を決めましょう。ああ、忘れるところでした。聖下はご厚意の会見のために米ドル紙幣を一枚用意され、ご自身で署名なさいます。ですがカメラは望んでおられません。何について話すのか伺ってもよろしいですか。はい。主題はこうです。作家イエスをどう思うか。

答え。彼は Amazon で売らなかった、それだけでも私の敬意に値する。それから彼は一度も金を求めなかった、だから私の尊敬に値する。そしてそのあと彼は売り、すべてを他の者たちに残した、だから私の連帯に値する。

イエス。別の時代の同僚。彼も Gillette のために働いていた。そしてそれを知っていたのは彼だけだった。

Ferdinando